

会長 芝 毅
 幹事 森 誠
 クラブ会報委員長 永石 睦巳

水と衛生月間

四つのテスト 言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム

令和5年3月29日(水) 第999回
 ソング「それでこそローターリー」
 会長の時間 幹事報告 委員会報告
 ニコニコ箱報告 出席報告
 内部卓話 中尾さなえ

次回のプログラム

4月 2日 1000回記念移動例会
 宮津天橋立
 4月12日 きび在宅介護支援センター
 在宅部長 西村憲志様

前回の報告 (第998例会)

開催日

令和5年3月15日(水)
 ソング「手に手つないで」
 会長の時間 幹事報告 委員会報告
 ニコニコ箱報告 出席報告
 会員卓話 中屋喜臣君

●芝会長の時間●

皆さん 今晚は、メンバーの出席ありがとうございます。本日の例会は、中屋君による会員卓話です。中屋君よろしくお願ひします。今僕は、花粉症で非常に苦しんでいます。薬も飲んでいますが、目のかゆみ、鼻水、イライラ、睡眠もうまく取れません。今日は花粉症について調べました。



花粉症とは、主に春先になると、植物の花粉が鼻や目の粘膜に付着し、それに対して過剰に反応してしまう病気のことを指します。

主な症状は、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみや充血、喉の痛みなどが挙げられます。花粉症は、一度発症すると、症状が繰り返されることが多く、症状の程度によっては、日常生活に支障をきたすこともあります。花粉症の主な症状は、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみや充血、

喉の痛みなどが挙げられます。これらの症状は、花粉が体内に入り、免疫システムが反応して炎症が起こることによって発生します。

特に、鼻粘膜や目の粘膜に花粉が付着した場合に、症状が現れることが多いです。また、花粉症によって症状が悪化すると、頭痛や疲労感、睡眠障害などの症状も出ることがあります。花粉症の原因は、植物の花粉と免疫系の反応によって引き起こされます。具体的には、体内に入った花粉が免疫系を刺激し、アレルギー反応が起こります。このアレルギー反応によって、鼻水やくしゃみ、目のかゆみや充血などの症状が現れます。また、花粉症の発症には、遺伝的な要因や環境要因も関与しています。

花粉症には、主に季節性の花粉症と常時性の花粉症の2つの種類があります。

季節性の花粉症は、春から夏にかけての花粉の飛散期に症状が現れます。主な原因となる花粉は、スギやヒノキ、ブタクサなどです。

一方、常時性の花粉症は、一年中症状が現れるタイプの花粉尘で、ダニやネコ、ハウスダストなどが原因となります。また、交差反応性のある食物と花粉による花粉食物症候群という種類もあります。

花粉症には生活習慣が大きく関わっています。正しい生活習慣を実践することで、花粉症の症状を軽減できます。適度な運動やバランスのとれた食事、十分な睡眠を心がけましょう。また、ストレスを溜め込まないようにすることも

大切です。

●幹事報告●

幹事 森誠君

2640地区より

ハイライトよねやま
(回覧)

4月2日(日)1000回記念移動お花見例会(出欠表)
有田川町駅伝大会御礼(回覧)
例会変更(ホワイトボード)



●委員会報告●

週報委員会

委員長 永石睦巳君

横組

P4~RI会長メッセージ
P7~地球の森活用術
P18~みなさんの質問に
ゴードン・マッキナリー
が答えます。
P28~テーマ 厨房、腕を
選ばず?

縦組

P4~震災から復興へ 発酵で街づくり



●ニコニコ箱●

芝毅君: 中屋君 本日の卓話楽しみです。
森誠君: 暖かい日が続き桜の開花も早まりそうですね! 本日は中屋さんの卓話よろしくお願ひします。
南良暢君: 中屋さん 本日の卓話すごく楽しみにしています。
永石睦巳君: 中屋さん 本日は宜しくお願ひ致します。
前任君: 中屋さん 本日の卓話楽しみです。
梅本茂喜君: 中屋君 本日の卓話宜しくお願ひ致します。
大浦輝彦君: 皆さんこんばんは! 中屋さん 本日の卓話楽しみにしています。

●出席報告●

梅本茂喜君



●会員卓話●

中屋喜臣君

有田みかんについて

本日は、有田みかんの歴史と有田地域でのみかんの栽培について発表させていただきます。

みかんの歴史はずいぶんと古く、約3000万年前にインド・タイ・ミャンマーのあたりが原産地といわれています。

日本では卑弥呼が台頭している時代の中国の書【魏志倭人伝】には、日本では(はじかみ・橘・胡麻・茗荷が自生しているのにその滋味を知らず)つまり、食に用いることを知らないと記載されていることから、当時は食用の文化はなかったようです。

その後食用のみかんとしては、およそ1200年前、垂仁天皇の命を受けた田道間守という人物が、不老長寿の果物として中国から持ち帰ったのが橘とされ、持ち帰った橘は熊野街道にある下津町橘本に植えられたとされています。

約450年の歴史をもつほど古くからみかん栽培の盛んな有田地域ですが、その起源は諸説あるものの、現在の有田市糸我町中で、伊藤孫右衛門が栽培したのが始まりというのが有力です。江戸時代には、有田川河口はみかんの出荷の集積地として発展し、江戸へのお荷で寛永11年(1634)有田郡滝川原村の藤兵衛がみかん400籠をお荷した記録が残っています。

特に1953年(昭和28年)の大洪水で水田からミカン畑への転換が進み、ミカン生産量がさらに増加する契機となりました。

令和2年には、有田のみかん栽培が、日本一のみかん産地に発展させた持続的農業システムとして、日本農業遺産に認定されました。

私もみかんの苗木を栽培していますが、有田地域の基幹産業であり【有田みかん】のさらなる発展に少しでも寄与できるようがんばります。



有田みかんについて



●閉会点鐘● 芝会長

	会員数	出席者数	出席率
本日の出席	15名	9名	60.0%
今年度平均		11.5名	76.6%